1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2192100135		
法人名	(株)ニチイ学館		
事業所名	ニチイのほほえみ西濃 1F		
所在地	岐阜県大垣市橘町2丁目9-1		
自己評価作成日	平成22年7月12日	評価結果市町村受理日	平成22年10月26日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kouhyou.winc.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2192100135&SCD=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 旅人とたいようの会		
所在地	岐阜県大垣市伝馬町110番地		
訪問調査日	平成22年8月21日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

事業所は1年間のスケジュールの中にて、お客様とご家族と一緒に参加される、イベントが年2回あり、その中でも夏祭りは、特に力をいれています。近隣の方々にも参加の声がけをし、皆さんが笑顔で参加していただけます。秋のバスツアーも毎年計画しています。ご家族にも参加をしていただき、昼食は個々に好きな物を食べて頂き、季節の風を感じながら、思い出作りを楽しんでいます。毎月幼稚園児が訪問に来てくださり、交流を楽しんでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

管理者と職員は、利用者の思いに寄り添う支援を目指し、職員間のコミュニケーションを大切にして、意見や気づきを引き出し、それを活かすケアに取り組んでいる。また地域の人達とは、日頃から挨拶や会話を交わすと共に、行事への参加や事業所・地域双方の夏祭り等で利用者と地域の方との交流を図るなど、地域での暮らしの支援に努めている。年2回実施しているバス旅行は、季節や景色・嗜好などを考慮し、また男性職員6名の在籍が、安全な移乗や移動支援での強みになっている。「家族だけでは難しい遠出の旅行が出来た」と好評である。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

(セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-です。)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者又家族等を私たちはいお客様と呼ぶ経営姿勢の理念の元と事務所に掲げている、経営理念を毎朝唱和して、常務に当たる	毎朝唱和する法人としての経営理念のほか、事業所独自の理念をパンフレットの表紙に掲げている。管理者と職員は「7つの心得」を共有しながら、利用者の意向を大切にしてい、日々の支援をしている。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会を実行して、民生委員様・自治会長様・ご家族様戸の交流を大切に、地域のイベントなどにも積極的に参加している	回覧板で地域行事やイベントの情報を得て、参加している。散歩時の挨拶等で馴染みになった地域の方から野菜を頂く事もある。また定期的な幼稚園児の訪問は、利用者との楽しい交流の時間である。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	回覧板等から地域の情報を得て、参加できるイベントには、参加したり天気の良いときには、散歩に出かけ、ご近所の方達とも気軽に声がけをしている		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会を開いており、民生委員・社会福祉協議会の人、自治会・オーナー様・ご家族様と近況報告等行い意見交換をしている	事業所の現況を報告すると共に、認知症や介護の在り方・季節毎の介護の留意点等の説明をしている。参加者の意見、要望を聞き、地域の抱える問題の相談も受けている。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会を実行して、市役所の福祉課へ出向き、現状報告(空き情報)等、福祉課の方からの意見交換を行い、市町村の行う会議等できるだけ参加している	市主催の会議に参加し、参考になる意見等は事業所内で検討している。また福祉課に出向き現況報告を行なうとともに意見交換をし、事案によって市や社協・包括支援センターと連携をとっている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在身体拘束はしていませんが、ケアスタッフには、毎月の会議などで、話し合い周知徹底している	身体拘束についての研修を行い、職員は身体拘束の弊害を理解している。玄関は施錠せず、常に利用者を視野に入れた見守りをして、時には散歩や興味のあるゲームに誘って、利用者の気分転換を図っている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	社内会議においても虐待等についての話し合いがあり、その事に対して持ち帰り、ミーティング等にて、話し合い防止に努める		

ニチイのほほえみ西濃

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会の中で話し合い意見交換を共有している		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、すべて説明して、ご家族に理解・納得していただき、質問があればお聞きする		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族がお見えになったとき等にご家族の苦情など、ご希望などを聞き実践するようにしている	利用者個々の近況と医師の所見書を毎月送付し、「一緒に生活しているようによく解かる」と家族から喜ばれている。家族の来訪の機会を多くし、意見を言い易い環境作りに努力しているが、家族からの意見を聞き出せてはいない。	更なる向上を目指し、家族の意見や要望を引出し、職員の意識や気づきに活かす工夫や取り組みに期待したい。
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一度のホーム内会議等にて意見を聞き2ユニットが情報交換などをその話題にたいして、提案等をしている	毎月開催しているホーム内会議や担当者会議では、職員から意見や気づきの発言が多く、話し合いながら支援に活かしている。管理者は職員から信頼され、意見の言いやすい環境を作っている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個別面談の実施・スキルアップ研修などのキャリアアップへの情報提供も積極的に行っている		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	講演会や研修会など社外からの案内状をロッカールームに張り出し、希望者には、シフトを調整し、出来る限り受講していただく		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	社外研修で知り合った同業者の話や前職場での利点をホームの運営の参考にしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回のアセスメントや入居されてから、まめに話をしコミュニケーションを図り、思いを伺ったり他のお客様にもなじんでいけるよう気を配っている		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族がどのような事で困っているのか、どのように本人に過ごしてもらいたいのか、伺い、できる限りご家族にの思いを聞くようにしている		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初回のアセスメントで本人や、ご家族のおもいを伺い、ホームで対応できる事・できない事について、他にもサービスがあることを伝える		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	その日の食事に合わせ、お客様に食材を切ったり、食器の片付けをして頂いたり、生活の中にて共存できる部分は共に行うようにしている		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	年に数回家族を招いてのレクリエーション(夏祭りなど)を行い、家族とのつながりを大切にしていきながら、本人を支えていくように働きかけている		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お部屋に家族の写真を置いて頂いたり、思い出の品物なども大切に保管していただき、それを題材にお話しなどしている	利用者が入居前から馴染みであった喫茶店や養老公園、お千代保稲荷など昔馴染みの場所に出掛けている。友人の来訪も歓迎し、遠方の家族は宿泊するなど、利用者との関係継続に努めている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リビングを開放しなるべく部屋に閉じこもる事がないように声がけをしたりして、座席も本人に意向を大切に、気軽に動ける空間を作り、利用者同士が気軽に話せる雰囲気作りしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族から連絡があれば、随時相談・対応している		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人との会話から、その方が好きな事、どうしたいのかを聞いたり、探っている。本人が思いを伝えられない場合は、気持ちよくすごして頂けるよう考えている	作品の掲示で、次の作品作りの意欲が増す等の気づきを支援に活かしている。意向の把握が難しい時は、仕草や笑顔の反応から思いを汲み取り、本人の気持ちに寄り添うように努めている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人または、ご家族から、どのような事を行ってきた方なのかを聞いている。又どんなサービスを利用されていたかなどアセスメントや話の流れから聞きだしている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	できるだけ現場を見たり、申し送りや、介護記録・スタッフの話から現状把握に努める		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月一回のカンファレンスでの話し合いの場を持ち、スタッフからの意見を聞いたり、提携医からの話を随時してり、御家族の思いを面会時に聞き、作成している	毎月のカンファレンスでは、モニタリングでの利用者や家族の思いを取り入れ、提携医や職員の意見・気づきを活かした介護計画を作成している。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録は細かく付けて、変わった事があれば報告している		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医師と常日頃から連携し体調管理や、福祉用具の貸与、移送サービスの利用している		

ニチイのほほえみ西濃

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	外出や外食、ご近所を散歩し、気分転換や、近くの幼稚園児から、定期的に園児の訪問があり喜ばれている		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の同意をいただき事業所の協力医療機関の医師が、月2回の往診と体調不慮時の受診往診をしていただいている	前からのかかり付け医や市民病院等の医療機関の受診希望には家族同伴をお願いしている。医療機関が遠方の場合、家族の了解を得て移送サービスを利用している。いずれも受診結果は共有している。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	なし		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は担当医と情報交換をする、家族とも話し、回復状況の情報交換をし、退院支援に結びつける		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	医療が必要になるまでは、スタッフができる限り、お客様の状態をを観察し支援している 提携医とも密になる	終末期に向けた方針は、契約時に利用者・家族と話し合い、職員も共有している。協力医と連絡を取り合いながら、重度化予防、じょくそう予防に努めている。利用者の健康状態に留意し、事業所として出来る限りの支援を行っている。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当の勉強会の実施については、緊急時のマニュアルを整備し周知徹底を図っている 外部から来社していただき講習会をしていただく		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年1回の消防訓練・非難訓練・消火器の使用方法を行っている。マニュアルを参考にし何時でも見られるように配置している 今後は2回は行うようにする	消防署の協力を得て、消防訓練、避難訓練を実施している。また自己研修にて災害時のイメージトレーニングをしている職員もいる。 地域の方の協力を呼びかけたが日時の調整がつかず、参加が得られていない。	地域の方の協力が得られるよう、綿密な日程調整の上、避難訓練を実施されるよう期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	月一回のホーム内会議とカンファレンスで全スタッフに周知徹底している	笑顔と言葉かけに気をつけ、トイレ誘導の声かけはさりげなく、入浴時も利用者の気持ちを優先している。必要な時以外は、ポータブルを居室に置かないようにし、人格を尊重し「その人らしく」暮らす支援をしている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	食事で食べたい物を聞いたり、今何をしたいかななどを聞き提供している		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	各自居室とリビングを使用して頂き自由に時間を楽しんで頂く		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節事に担当スタッフが衣類の入れ替えをお客様と共に入れ替えをしたり、その日に服も各自が選んで来て頂いて、2ヶ月に1度家族の同意の下髪をカットしている		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事前の準備(食材切り・餃子作りなど)をして頂いたり、後片付け(食器拭きなど)を手伝っていただいたりしている	包丁を使って調理に携わる利用者もあり、もやしのひげとり等簡単な作業は参加者が多い。食器の片付けは大勢で手伝う姿が見られたが、利用者と職員と一緒に食事を楽しむ光景は見られない。	職員も一緒に食卓を囲んで食事を楽しむ雰囲気作りが出来るよう工夫をされたい。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体重を2週間に一度測り増減を見たり、体調を気にしながら、食事の量・おやつを量を考えている		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後・就寝前には、各自できる所までは、口腔ケアして頂き、できない所は、援助している		

二チイのほほえみ西濃

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	日中は、オムツは特別な事情がない限り、使用しない。2時間位で声がけし、トイレ誘導にて排泄していただく	日中は、タイミングを考慮したさりげない声かけで、トイレ誘導をしている。居室でのポータブルトイレも、臨時的に設置する事はあるが、自立を重視し、トイレでの排泄支援を第一にしている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の方には、十分な水分補充と散歩していただき、繊維質の多い食材を提供している		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	お客様の希望を確認し、入浴していただく。入浴できない方は、おしもを中心に全身清拭をし清潔にしている	原則として毎日の入浴が可能である。希望に添ったシャワー浴も行っている。のんびりした気分で湯に浸かり、歌が出る利用者もある。又菖蒲湯や柚子、バラの花びらを入れ、季節や香りを楽しむ工夫をしている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中に体を動かしてもらうよう促し、夜安心して眠れるように日中の活動に配慮している		
47		服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ファイルの作成・処方箋のコピーをファイルに保管し、全職員がわかるようにしている		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	できる事はなるべくやってみようとする。洗濯物干し・かたづけ・食物やみずやりなど皆さんで協力しながらしていただく		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日帰りバス旅行を年2・3回企画し、季節感をたのしんだり、外食を楽しんだりしていただいている	季節の景色や、昔を偲ばせる場所への家族同伴バス旅行や、希望に添った買い物や外食、地域行事等外出の機会が多い。男性職員が多数在籍し、安全な移乗や移動がし易く、遠出の外出支援を支えている。	

二チイのほほえみ西濃

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族よりお小遣いをお預かりし、事業所が管理しているが、外出時などには、お客様に見守りしながら、自己管理をしていただき使い方について支援している		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族からの電話・入居者様がかける電話にてゆっくりお話しをしていただいたり、手紙やはがきが届きくと読んでいただいたり、返事なども書いて頂いたり、しています		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	風呂ばユニットバスで1人ずつはいて頂く。流れの良い音楽を居間にて流し、季節の花などを飾り、イベントなどの飾付をしている	掃除が行き届き、清潔感がある。季節の花を随所に飾り、音楽(BGM)が流れ、落ち着いた雰囲気の中、テレビの野球を見る人、ゲームをする人等、思い思いに過ごしている。幼稚園児との楽しい交流写真があり、明るい共有空間になっている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関の外・テラスに長いすを置き花を見てみらったり・風のあるときは、涼んでもらったりできるようにしている。リビングの窓際にリファ-を置き気軽にTVを見たり、ずずんでいたたりしている		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた、タンス・机などをそのまま、使用してもらい居心地よい空間を作る工夫をしている	クローゼットは、壁面埋め込みで居室は広く使いやすい。自宅から箆筒やテレビ、テーブル、写真、人形など好みのものを持ち込み、利用者の思いに添った、居心地の良い居室になっている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自力歩行できる人は、手すりを使用しながら、見守りにて歩行してもらう。衣服の着脱などもやれることは自分でやっていただき見守りにておこなう		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2192100135		
法人名	(株)ニチイ学館		
事業所名	ニチイのほほえみ西濃 2F		
所在地	岐阜県大垣市橘町2丁目9-1		
自己評価作成日	平成22年7月12日	評価結果市町村受理日	平成22年10月26日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kouhyou.winc.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2192100135&SCD=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 旅人とたいようの会		
所在地	岐阜県大垣市伝馬町110番地		
訪問調査日	平成22年8月21日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに 印	項目		取り組みの成果 該当するものに 印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者又家族等を私たちはいお客様と呼ぶ経営姿勢の理念の元と事務所に掲げている、経営理念を毎朝唱和して業務に当たる		
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会を実行して、民生委員様・自治会長様・ご家族様との交流を大切にし、地域のイベントなどにも積極的に参加している		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	回覧板等から地域の情報を得て、参加できるイベントには、参加したり天気の良いときには、散歩に出かけ、ご近所の方達とも気軽に声がけをしている		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会を開いており、民生委員・社会福祉協議会の人、自治会・オーナー様・ご家族様と近況報告等行い意見交換をしている		
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会を実行して、市役所の福祉課へ出向き、現状報告(空き情報)等、福祉課の方からの意見交換を行い、市町村の行う会議等できるだけ参加している		
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在身体拘束はしていませんが、ケアスタッフには、毎月の会議などで、話し合い周知徹底している		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内会議においても虐待等についての話し合いがあり、その事に対して持ち帰り、ミーティング等にて、話し合い防止に努める		

二チイのほほえみ西濃

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会の中で話し合い意見交換を共有している		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、すべて説明して、ご家族に理解・納得していただき、質問があればお聞きする		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族がお見えになったとき等にご家族の苦情など、ご希望などを聞き実践するようにしている		
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一度のホーム内会議等にて意見を聞き2ユニットが情報交換などをその話題にたいして、提案等をしている		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個別面談の実施・スキルアップ研修などのキャリアアップへの情報提供も積極的に行っている		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	講演会や研修会など社外からの案内状をロッカールームに張り出し、希望者には、シフトを調整し、出来る限り受講していただく		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	社外研修で知り合った同業者の話や前職場での利点をホームの運営の参考に行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様を知る事に勤める為に、ひとり一人の情報が記録された資料を読む ご本人様をよく観察しながら要望など傾聴する		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ケアマネさんと連絡を取りながら、家族様のかかえておられる、問題、状況、状態を知り信頼を築けるように努める		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	色々な角度より、考慮しご本人様とご家族様にとって、無理がなく、必要な支援、サービス支援をケアマネと共に対応に努める		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	自立を損なわず、手を出し過ぎないようにケアに努める そのとき時の状態に合わせた柔軟な声がけとケアに努める		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人様の状態の変化に合わせたケア・又新たな問題点等が生じた場合ケアマネと相談し、ご本人とご家族様の絆を大切にしながらささえていく		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外部からの訪問者、誘い等あれば、ご家族の了承の下積極的にすすめ、地域との関わりをもち続けてもらえる様努める		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや日常のお手伝いを通して、利用者同士が関わり合えるよう支援している		

二チイのほほえみ西濃

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族から連絡があれば、随時相談・対応している		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	心を開いて話せる環境づくり、具体的な案や、方法等をいくつか用意し、選んでもらうご本人の立場で物事を考え支援している		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人または、ご家族から、どのような事を行ってきた方なのかを聞いている。又どんなサービスを利用されていたかなどアセスメントや話の流れから聞きだしている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	レク・日常生活において、できる限り自分でできる様支援し配慮して充実感を持って頂けるように支援している		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月一度かファレソを開き個人個人に対する思いを話し合い一番良いケアを皆で決めケアに努める		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々観察している事を細かく記録しスタッフ間で情報交換をしたりして、介護の見直しに役立てている		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医師と常日頃から連携し体調管理や、福祉用具の貸与、移送サービスの利用している		

ニチイのほほえみ西濃

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	外出やし外食、ご近所を散歩し、気分転換や、近くの幼稚園児から、定期的に園児の訪問があり喜ばれている		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の同意をいただき事業所の協力医療機関の医師が、月2回の往診と体調不良時の受診往診をしていただいている		
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	なし		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は担当医と情報交換をする、家族とも話し、回復状況の情報交換をし、退院支援に結びつける		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	医療が必要になるまでは、スタッフができる限り、お客様の状態をを観察し提携医とも相談しながら支援している		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当の勉強会の実施については、緊急時のマニュアルを整備し周知徹底を図っている外部から来社していただき講習会をしていただく		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年1回の消防訓練・非難訓練・消火器の使用方法を行っている。マニュアルを製作し何時でも見られるように配置している今後は2回は実施するようにする		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	月一回のホーム内会議とカンファレンスで全スタッフに周知徹底している		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	食事で食べたい物を聞いたり、今何をしたいかななどを聞き提供している		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	各自居室とリビングを使用して頂き自由に時間を楽しんで頂く		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節事に担当スタッフが衣類の入れ替えをお客様と共に入れ替えをしたり、その日に服も各自が選んで来て頂いてり、2ヶ月に1度家族の同意の下髪をカットしている		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事前の準備(食材切り・餃子作りなど)をして頂いたり、後片付け(食器拭きなど)を手伝っていただいたりしている		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体重を2週間に一度測り増減を見たり、体調を気にしながら、食事の量・おやつを量を考えている		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後・就寝前には、各自できる所までは、口腔ケアして頂き、できない所は、援助している		

二チイのほほえみ西濃

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ご本人様との排泄パターンや習慣を知り、こまめな声がけ等に努め、排泄の失敗やオムツの使用をできるだけ減らし、トイレでの排泄・自立に向け援助する		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因を考え、水分をたくさんとって頂いたり食物繊維の物を沢山とって頂いたり、腹圧マッサージなどを行うなどの工夫をしている		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	本人の意思を尊重し体調を考慮しながらペースに合わせた入浴をして頂いている。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調や本人の気分に合わせ、自由に休息が取れるようにし、不眠時にも安心して頂けるよう傾聴し、声がけをする		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬に関しては、2重にも3重にも目を変え確認するようにしている 薬が変われば状態観察に気を配り変化がないか気をつけドクターの指示のもと状態観察に気を配り変化に注意する		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人に合った、役割や力量に合わせ、楽しめるように時には外出したり、外食したりしたのしんで頂けるよう配慮し提供している		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節や、天候、ご本人様の体調等を考慮し散歩に出掛けたり、本人と家族様の希望から外出したり、ホームにてバス旅行を企画し、外出をたのしんで頂く		

二チイのほほえみ西濃

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お小遣いをお預かりしていますので、外出したとき等は、個人で支払いをしたりしていただき使える楽しさを知る事に支援している</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>希望があればかなえられる用に支援している お客様から時折TELがしたいとの訴えがある時は、希望に沿うように配慮する</p>		
52	(19)	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>こまめに掃除をし清潔保持に努めている 空調を管理し心地良く過ごして頂けるようにしている。飾り付け等で季節感を感じて頂けるように配慮する</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>和室やソファーを利用し、くつろぎやすい空間作りに努めている</p>		
54	(20)	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に使いなれた道具を持って来ていただき、馴染みのある物にかこまれた、空間を作るようにご家族にお願いをする</p>		
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>転倒のないよう居室など、リビングの整頓、環境に努める</p>		